

2021 年 度  
事 業 計 画 書

一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会

## 2021 年度事業計画書

2021 年度が始まっても、残念ながらコロナウィルスの脅威は続いています。新年度の事業計画を策定するに際し、やはりコロナ禍という特殊な環境を念頭に置く必要があると考えています。冊子冒頭の 2020 年度事業報告書(案)にも記載しましたが、全ての活動を当面 On-line 中心に設計することと致します。

今年熊本で開催予定であった九州支部主管の全国大会は、昨年の青森大会に引き続き 2 年延期を余儀なくされましたが、各支部の通常大会等は工夫を凝らして On-line での開催が出来ないか検討して参ります。

新年に初めて On-line で発信した会長の年頭の辞において、会長は昨年来掲げている、①鉄スクラップ品質改善を目的とした品質向上委員会(仮称)の設立、②会計システムの見える化、③人手不足解消の為の諸施策の構築、に加えて『工業会に加入するメリット』を改めて考えて頂く場を設けることを提案しました。いずれも、当工業会が将来に亘り真剣に議論すべき案件であり、会員各社の経営者、若手それぞれが様々な場を通じて意見を述べて頂くことを期待します。

話は変わりますが、昨年 10 月の新政権発足時に、菅新首相が『2050 年までに日本の二酸化炭素ネット排出量ゼロ(カーボンニュートラル)を達成する』を表明しました。

鉄鋼業は、生産時に多量の二酸化炭素を発生させます。日本鉄鋼連盟は、カーボンニュートラルにむけて諸施策を発表しましたが、そのハードルは極めて高いと判断せざるを得ないものです。この難しい課題に対し、我々鉄リサイクル業はどのように関わっていくのか、関係諸機関を含めて議論を始める必要があります。

また、将来的に粗鋼生産の伸びが期待できず鉄スクラップの国内需要の低下も不安視される状況下、『販路確保を目指し輸出拡大をどのようにして実現していくのか』さらに、『海外資本の鉄スクラップ業への進出にどのように対処していくのか』等々、21 世紀の鉄リサイクル業のあるべき姿を見据えて、会員全員で広く議論していくことを提案致します。

コロナに関しては、ワクチンの接種も開始され、わずかながらにせよ明るい兆しも見えてきました。今年度も、工業会活動に一人でも多くの会員の方に参加して頂き、実り多い活動を展開したいと考えています。

## ＜重点事業＞

### ◆鉄リサイクル業を通じた資源循環型社会の推進及び地球環境保全に貢献する事業への取り組み 【公益事業】

持続可能な豊かな循環型、低炭素社会の実現に向けて、資源・エネルギーの有効活用や環境負荷低減等の重要性が高まり続けている中で、我が国の経済社会における資源リサイクル分野を支える重要な担い手である当工業会においてもグローバルな視点に立って、資源の再生化及び地球環境保全に尽力、貢献して参ります。

(1)近年は地球温暖化による気候変動リスクが顕在化しており、業界として CO2 排出量の面からも対外的な説明が求められる機会が増えてくると思われ、金属リサイクル工程において発生する CO2 等のエネルギー負荷の調査研究を行って参ります。特に金属リサイクル工程は、天然資源からの素材抽出に比べてエネルギー負荷が非常に低いことから、この面でも大きなメリットがあることを世の中に打ち出していくことで、業界としての存在感の向上やアピールにも繋がると考えます。 【環境委員会】

(2)国際機関との相互交流を深め、また国際会議等の場で我が国の優れた鉄リサイクルシステムや技術を引続き発信していくことにより、我が国の鉄リサイクル業のプレゼンスの向上に尽力致します。アジアを中心として、広く欧米も含めた鉄スクラップのリサイクルネットワークの形成を目指します。「国際鉄リサイクルフォーラム」では会員及び関係者に資する有益な情報提供に努めます。 【国際ネットワーク委員会】

(3)自動車リサイクル法に関し、自動車リサイクルの中核を担う業界の立場から、合理的、効率的なリサイクルが実施され、「3R の推進」及び「リサイクルの質の向上」が達成されるべく関係各機関と協議します。特に、現在進行している自動車リサイクル法見直し(マテリアルリサイクルの促進及び ASR の削減)に関し、積極的に意見具申して参ります。 【自動車リサイクル法委員会】

(4)ダストや非鉄混入等の製鋼用スクラップの品質問題に関する各支部での取り組みについて意見交換、情報共有を進めるとともに、鉄スクラップの商流を巡るコンプライアンスの問題、日本産スクラップの国際競争力強化等について議論を行って参ります。また、引き続き、鉄スクラップを取り巻く課題や環境変化について普通鋼電炉工業会との対話を進めて参ります。 【本部他】

(5)社会的にさらに信頼される鉄リサイクルを推進していくため、当工業会が自主管理する「金属リサイクル伝票」を工業会の管理のもとで発給し、引き続き、鉄スクラップの適正な回収処理の保証を目指していきます。 【業務対策委員会】

- (6) 日々変化する資源・環境を巡る内外情勢を迅速かつ的確に捉えるため、調査分析、情報収集に努めます。このうち鉄スクラップ需給の関係では、自主統計を持たない当工業会は、鉄源分野のデータ整備、市場調査を主要な事業とする(一社)日本鉄源協会と十分に緊密な連携、協力を図って参ります。【本部他】

#### ◆各種の講習会、講演会の開催【公益事業】

資源リサイクル、環境対策関連の情勢及び労働安全衛生問題等に関して、適宜テーマを選定の上、専門家等を講師に招き講演会、講習会を開催します。なお開催に当たっては会員に限定することなく参加者を募集し、必要に応じて各支部の協力も得て実施します。

- (1) 資源リサイクル、地球環境保全分野における法令や制度の改正、新たな施策及び内外情勢、調査研究結果等に関する講演会、研修会等を開催します。

【環境委員会】

- (2) 身近な職場の労働安全衛生対策のほか、具体的な設備機械や重機等における操作上の課題等を含めた労働災害の撲滅に向けて労働安全衛生講習会を開催します。

【業務対策委員会】

#### ◆鉄リサイクル業に関する各種普及、啓発事業の推進【公益事業】

鉄スクラップの特性や市場構造等の実態、鉄リサイクル業の果たす役割、意義を広く紹介し、更に鉄リサイクル業の認知度を高めていくとともに、労働安全衛生対策や資源リサイクルの重要性を強調するなど、あらゆる媒体、機会を通じて普及、啓発に尽力して参ります。

- (1) 工業会の活動報告、業界事業の紹介や各地のトピックス等を掲載する機関誌『鉄リサイクルニュース』を発行します。掲載記事については広く投稿を呼び掛け、紙面の充実化を図ります。

【広報委員会】

- (2) 工業会ホームページについては、有益な情報、タイムリーな情報を掲載し更なる充実化に努め、会員内外を問わず多くの方々に閲覧していただけるページ作りを行なって参ります。新たな取り組みとして、業界紙記者による市況解説の動画を撮影し掲載いたします。また、メールアドレスを登録した会員宛てに更新情報を自動配信するシステムを実装します。

【広報委員会】

#### ◆会員の経営、業務基盤等の維持・強化に資する事業の推進【共益事業】

- (1) 業界が直面する諸課題について、会員の意見等を十分に踏まえ、担当する各委員会等を中心に的確な対応を図っていきます。また、支部、部会においても、独自の講演会、勉強会、研修会の開催や個別ニーズに応じた独自組織

の運営等のほか、定例、臨時の支部、部会会合の活発な開催、本部・委員会との密接な連携により地域特有の問題等について、十分、配慮したキメ細かい事業を展開します。 【本部他】

- (2) 会員に対する労働安全衛生活動の支援策として、安全ポスターの作製・配布、中央労働災害防止協会等で行われる労働安全事業について情報提供を継続します。業界固有の労働災害事例調査を引き続き実施し、その傾向や要因の分析に取り組みとともに情報共有を図り、会員各社での労働安全活動の一助として活用頂くこととします。また、作業現場等で身近に潜む危険を実際に肌で感じ、職場での安全意識を高めて頂くため「危険体験学習会」の開催を計画します。加えて、過積載防止に向けて普通鋼電炉工業会の協力を得て、引き続き、過積載防止ポスターを作製し、会員各社に対する啓発と注意喚起に努めることとします。引き続き、災害共済会保険(施設賠償責任保険及び労働災害総合保険等)についてその内容を検討し、加入者の募集を行います。

【業務対策委員会】

- (3) 鉄スクラップの東南アジア、更にその以西に向けた船積みの増加に伴い、輸出船の大型化が求められています。国交省主管「リサイクルポート推進協議会」内設置の「国際資源循環部会」では石狩湾新港を中心とした港湾整備及び複数港積みを進言してきました。国交省及び財務省は鉄スクラップにバイオマス燃料も対象商品に加え、前向きに検討を始めています。この機を逃さないよう積極的にその実現を訴えて参ります。 【港湾委員会】

- (4) 次世代を担う若い方々の人材育成やCSR(企業の社会的責任)の観点から、同業他社及び異業種との相互交流を通して知見を広げる活動を引き続き行います。具体的には、「新発見セミナー21」を推進して参ります。また、会員各社が工業会への入会の意義を改めて見出して頂く端緒として業界内外の各種情報の発信に従来に増して努めつつ、新たな発信ツール、方法を思考することとします。 【広報委員会】

- (5) 鉄スクラップの国内流通や輸出に係る全般的な情報を収集し、工業会会員に発信することで工業会の活動を支援します。国内流通にかかわる諸課題(鉄スクラップの品質向上等)を取り上げ、業界がより良い方向に向かうべく支援します。 【商社流通委員会】

- (6) 鉄スクラップ業における人手不足の中、人材確保の観点から女性の雇用を広げるため、女性が働きやすい職場環境の整備等について考えるとともに、シルバー人材、外国人材等を含めた雇用の多様化に目を向けて参ります。 【本部他】

## ◆当工業会自身のガバナンスに係る取り組み【管理業務】

### (1) 一般社団法人としての対応

新公益法人制度に基づく「一般社団法人」として関係法令に準拠し、実施してきた公益目的支出計画が2020年度決算をもって終了致しました。今年度より、内閣府の指導監督から離れることとなりますので、改めて「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に基づく法規範に則り、事業活動を推進して参ります。【本部他】

### (2) 工業会の業務管理・運営体制の整備・強化

当工業会の使命が十分に発揮できるよう工業会自身の業務管理、運営体制の効率化、合理化に取り組んで参ります。

#### 1) 適正な工業会会計の確立に向けて

支部への会計ソフトを導入により支部間の会計処理手順や帳簿体系の統一化を図りました。さらに部会レベルでの規律の強化を図り、公認会計士による外部監査の実施に向けて透明化、適正化に努めて参ります。

【本部、財務委員会他】

#### 2) 工業会組織の機能性、透明性の向上に向けて

定款及び関連諸規程類の整備、見直しについて、新たな法改正の動きに合わせ、適宜、関連規定類の必要な見直し、改定を行って参ります。【本部他】

### (3) 工業会内部のコミュニケーションの充実に向けて

各委員会や支部・部会での活動が一方通行、形骸化したものに陥らぬよう幹部や委員が相互に忌憚なくコミュニケーションが図れる場の設定に心がけます。また、支部・部会の諸活動への幹部、本部職員の参加機会を増し、事務局相互の連携を深める等内部コミュニケーションの充実にも継続的に取り組んで参ります。【本部他】

以 上